

第57回環境保健夏季大学報告

環境保健夏季大学（合同研修）は、市町公衛協推進委員、事務局担当者を対象とした宿泊研修で、体験交流を通して今後の環境保健・公衆衛生の向上と活動の活性化をねらい

今年は、平成30年
月5日～6日に、グ
ーピアせとうち（
市安浦町）に県内各
から約150人が参
しました。

ら「健康づくり」「環境づくり」に関する施策の情報提供（関連記事3面参照）と当協会の基金を活用して実施している「環境と健康の」「マイティ活動助成事業活動」の事例発表

を行いました。

照) と1万人の食チャツ
ク事業のお楽しみ抽選
会を実施して、終了し
ました。

環境と健康のミニュエイ 活動助成事業活動報告

瀬戸内海の環境問題は、1970年代の赤潮が頻繁に発生し、海が汚れている「富栄養化」の状態であったのに対して、現在は海の水質が改善された一方で、「貧栄養化」の状態となりました。

漁業者の評価の中では、今の海よりも、昔の海が良かったといふ人が多くあり、かき・ワカメ・海苔を養殖するため、海に肥料をまく、下水処理場から



中国新聞社 記者
永山啓一 様

講演をいただいた講師の永山氏は、2003年に中国新聞社に入社し、山口支社、岡山支局を経て、2016年3月から報道部に勤務され、同年の11月から17年6月まで、年間企画班の一員として、連載記事「海に聞く　瀬戸内再生」を担当されました。今回は、この連載記事の執筆に関わった取材体験を基に、瀬戸内海の現状についてお話をいただきました。

成29年度に10周年を迎

え、その間に105事業を助成しました。今回は、大崎上島町公衛

A black and white photograph of a man with glasses and a light-colored shirt speaking into a microphone. He is positioned on the right side of the frame. To his left, a large banner with Japanese text is partially visible. The banner reads "衛生推進委員会" (Health Promotion Committee) and "す。" (and). Below this, another line of text is partially obscured by the speaker's head, showing "年。" (Year), "で集会所にソーラー" (At the meeting place with solar), "画をして、" (Painting), and "とで由" (Due to).

ブランドのかきのイメージ低下と共に不買運動による経済的な影響も出かねない状況です。3つ目の問題が、海洋酸性化です。森林に吸収されるCO₂はグリーンカーボンと呼ばれ、広く知られていますが、実はそれ以上に海洋に吸収されるCO₂は多く、ブルーカーボンと呼ばれ、酸性化に大きな影響を及ぼしています。これにより、貝類の成長を阻害するなどの実

映画「この世界の片隅に」の場面では、昭和初期の広島の様子が描かれ、主人公のすずさんと江波から草津まで歩いて行ったのに驚かされるように、今と昔の瀬戸内海はすいぶん変わってしまいましたが、美しい景観、生物の多様性、生産性向上の取り組みを加え、豊かな海へ向けて、地域ごとに行動をしていましょう。

の流出水の処理を緩和するなどの対策が取られているのが現状です。2つ目の問題はプラスチックごみで、瀬戸内海ではかき養殖に使用するパイプの漂着が多く見られます。国際的にもストロー・やレジ袋などのプラスチック製品の使用が禁止される動きがあります。景観悪化・航路の障害・生態系への悪影響など新たな脅威となつてお

島市内の魚売り場では、
エコバッグが表示され
るお店も出始め、消費
者の方々へエコを意識
した買い物をすること
をお勧めしています。

現在の瀬戸内海は、
子どもの“海離れ”が進
み、高齢者にとっても
楽しむことがありても
子どもにとつては楽し
くない場所となっています。ぜひ、子どもを
海に連れて行つてください。

1万人の食チェック事業 23公衛協・三千四百五十七人の推進委員が参加

平成30年6月19日から
の1週間、約1万人
の公衆衛生推進委員を
対象に、毎日の食事で
摂取した食品をチェック
する「1万人の食チエ
ク事業強化期間」に挑
戦していただきました。
お楽しみ抽選会を行
った7月6日現在で

昨年度と比較して実践率の上昇率が高かったのは、廿日市市立(11.3%)、江田島市立(10.5%)、世羅町立(10.1%)で、実践率50%を達成した公衛協は11団体でした。

食チャックカードに
録された結果は現在
計中で、次回の情報
(11月号) や12月の
門部会(健康部会)
詳細を報告する予定
す。特に、今年度の
標である「主食・主菜
副菜を組み合わせた
事を1日2回以上、
ぼ毎日食べている人
割合70%以上」に対
る現状に注目したい
思います。

保冷材入りクール系
クタオル、熱中症警
付温湿度計、ヒノキ
伐材を使った木製う
わ、器や料理の形に
り抜いた実物大力一
で、楽しみながら量
バランスを考えて料
を選び組み合わせる
育教材「バイキング
ード」です。公衛協

業平成22・23・24年度報告」平成27年度「平成29年度」の4公衛協に、事業を報告してもらいました。アンケートでは、「大変参考になつた」「参考になりました。」など、労されている事が理でてきた」「いろいろな動事例の背景やヒンが把握できた」「参考になつた」などの感想がありました。

オリジナルの紙芝居を披露する大崎上島町公衛協（上）、学校とのつながりや継続の成果を発表する福山市泉学区公衛協（中）、新たに陸封する質問オブ・ホーリー（下）